

もの言う牧師のエッセー 第265話

「小林麻央のブログ」

歌舞伎俳優の市川海老蔵の妻で進行性乳がんを公表しているフリーアナウンサーの小林麻央さんが、9月1日にブログを新設。尊敬する先生に「癌の陰に隠れないで」と言われたことをきっかけに、病と闘いながらも「なりたい自分になる」と前向きなメッセージを発信して大きな反響を呼んだ。

「時間の経過とともに、癌患者というアイデンティティーが私の心や生活を大きく支配してしまっていたことに気がつきました。病気の陰に隠れようとして心や生活をさらに小さく狭いものにしてしまいました。これは自分自身のせいです。」しかし、「私は力強く人生を歩んだ女性でありたいから子供たちにとって強い母でありたいからブログという手段で陰に隠れているそんな自分とお別れしようと決めました。一度きりの人生なので、なりたい自分になろうと決意できたことは嬉しいです。」

実は彼女のコメントは幾つかの重要な事実を浮き彫りにしている。まず第一に、目の前の試練にのみ視点が集中した結果、その事案が肥大化し、同時に自分は卑屈になってしまうこと。次にそれは自分の罪であること。さらに、そんな自分とは決別すべきであることと、それが出来たら“嬉しい”ことだ。かと言って、精神的に窮屈になっている自分から抜け出すのは相当むづかしい。現に麻央さんは「病気になってよかったと言えるような境地まで辿り着いていない」と正直に告白している。だが、そんな人々に対する朗報が聖書にはある。

「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。」

コロサイ人への手紙3章15節。

苦難や試練に“支配”されるのではなく、キリストに従い、彼が下さる聖霊に満たされ心の平安をいただいた結果、喜べる者、感謝が出来る者へと脱皮できる。そして、なりたい自分への道を踏み出す。

2016-11-9

